

**平成29年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（社会人を除く）】
保健師採用試験、薬剤師採用試験**

集団討論課題

<課題1>

文部科学省の調査で、授業時間の増加や部活動の顧問などで公立中学校教諭の6割が週60時間以上勤務している多忙な状況が明らかとなりました。

このような現状を改善するためには、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題2>

南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が想定されるなか、行政、企業、個人はそれぞれどのような備えをしておく必要があるか、グループの意見をまとめてください。

<課題3>

本県の人口は、少子化や他都道府県への人口流出等により、今後も減少していくと予想されていますが、人口減少の問題点を挙げた上で、それを解消するために効果的な取組はどのようなものがあるか、グループの意見をまとめてください。

<課題4>

本県の農業算出額は、平成27年では3,424億円となっており、全国第5位となっています。

そこで、本県で生産された農林水産物を県内外で、より多く消費してもらうにはどのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題5>

平成27年度の本県の男性の育児休暇取得率は6.9%であり、全国平均より高い値ですが、厚生労働省では男性の育児休暇取得率を2020年度までに13%にすることを目標としています。

今後、男性の育児参加を促し、この目標に近づけていくためには、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題6>

平成27年の宮崎県観光入込客統計調査結果における本県の観光入込客数は、1,580万人で、その内訳は宿泊客数351万人、日帰り客数が1,229万人となっています。

そこで、本県の観光における強み、弱みを挙げた上で、宮崎を観光地としてさらにPRするためには、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題7>

本県では、東京オリンピックの事前キャンプ地の誘致に成功したり、2026年の国体が宮崎で行われるなど「スポーツランドみやざき」の取組の成果が上がってきています。

これらの機会を活かしてさらに宮崎県の魅力を国内外に発信するにはどのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題8>

本県では、就職や進学を機にふるさとを離れてしまう若い世代が多い状況が続いています。

本県出身で県外へ進学・就職した若者が帰って来たくなる宮崎県にするには、行政としてどのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題9>

本県では、全国平均よりも5年早いスピードで高齢化が進んでいますが、より高齢者が住みやすい環境づくりを推進していくためには、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題10>

運転中の携帯電話等の使用は道路交通法で禁止されていますが、通話しながら、あるいは画面を見ながら運転する人が多く、道路交通法違反で検挙されたり、交通事故につながるケースが後を絶ちません。

この状況を改善するためには、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題11>

宮崎県土の9割近くを占める中山間地域では、過疎化や高齢化の著しい進行により、持続可能な暮らしの維持すら困難な集落があります。

これを解消し、集落を振興するために、どのような取組をすればよいか、グループの意見をまとめてください。

<課題12>

本県の経済を活性化するための取組の一つとして、海外との経済や観光の交流の促進が考えられます。

そのために、行政としてどのような取組を行えばよいのか、グループの意見をまとめてください。

<課題13>

地方の人口減少に歯止めをかけ首都圏への人口集中に対応し、日本全体で活力を上げることを目的に、「地方創生」の推進に向けた取組が行われています。また、本県では農林水産業といった第一次産業が基幹産業となっています。

そこで、第一次産業で地方創生をするとなった場合、どのような取組が考えられるか、グループ内の意見をまとめてください。

<課題14>

電話で県職員など行政機関の職員を名乗り、「税金や医療費を還付します」などと言葉巧みに還付金手続きの説明をし、金融機関等のATMに誘導する還付金詐欺の被害情報が多数寄せられています。

このような被害を防ぐために、行政としてどのような取組を行えばよいのか、グループの意見をまとめてください。